

- セッションタイトル

多面的な価値指標による地域の持続的な社会シナリオの構築

- 【概要】

ポストコロナ社会における持続可能な社会、つまり脱炭素・自然共生型かつ自立分散型の社会を目指すために、地域が多面的な価値評価によって様々な技術・政策オプションを選択することが可能な指標とそれに基づくシナリオ構築の手法について、議論を行う。具体的には、Nature futures framework (NFF)の考え方を基礎として、オプション選択による地域経済への影響などの経済的価値、エコロジカルフットプリントや生態系サービスなどの環境的価値、地域の伝統・文化やコミュニティの維持などの社会的価値などの指標を提示し、地域の将来シナリオ・持続可能性の構築と評価を行うことを目指す。本セッションは、環境省の第V期環境経済の政策研究委託事業で行った上記の研究内容について、広範な議論を行う目的で開催する。

- 【登壇者と演題】

- 福士謙介（東京大学）「プロジェクトの概要」
- 栗栖聖（東京大学）「地域属性・条件と住民の幸福度」
- 齊藤修（公益財団法人地球環境戦略研究機関）「NFFに基づく技術選択と環境的・社会的価値評価」
- 尾下優子（東京大学）「技術選択と経済的価値、地域ワークショップにおけるステークホルダーの評価」

総合討論

- 【備考】

本セッションは、以下の支援を受けています。

- 環境省の第V期 環境経済の政策研究委託事業「多面的な価値指標による地域の持続的な社会シナリオの構築に関する研究」
- JST COI-NEXT ビヨンド・“ゼロカーボン”を目指す”Co-JUNKAN”プラットフォーム研究拠点 (JPMJPF2003)